

# SWGとGoogleファイルストリームの使用

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[Googleセットアップガイド](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、セキュアWebゲートウェイ(SWG)とGoogleファイルストリームを使用する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Secure Web Gateway(SWG)に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 概要

Googleファイルストリームは、Googleドライブへの安全なアクセスを提供します。デフォルトでは、このソフトウェアは、傍受に対するセキュリティ対策としてSSL復号化を実行するプロキシでは機能しません。SSL復号化が有効な状態でSWGでGoogleファイルストリームを使用するには、次の手順を実行する必要があります。

## Googleセットアップガイド

Cisco Umbrellaのプロキシサービスで機能するようにGoogleファイルストリームを変更するには、レジストリを編集する必要があります。詳細については、Googleの次の記事を参照してください。[ドライブとサイトのファイアウォールとプロキシの設定](#)。必要な明示的な変更は、Googleル

ートペムファイルを変更し、Umbrella CA([ルートCA](#)またはユーザCA)をファイルに追加することです。

次に、Googleの記事「[Advanced Drive for desktop configuration](#)」の手順を使用して、この新しいファイルにレジストリキーを指定します。

完了したら、変更を適用するためにリブートする必要があります。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。